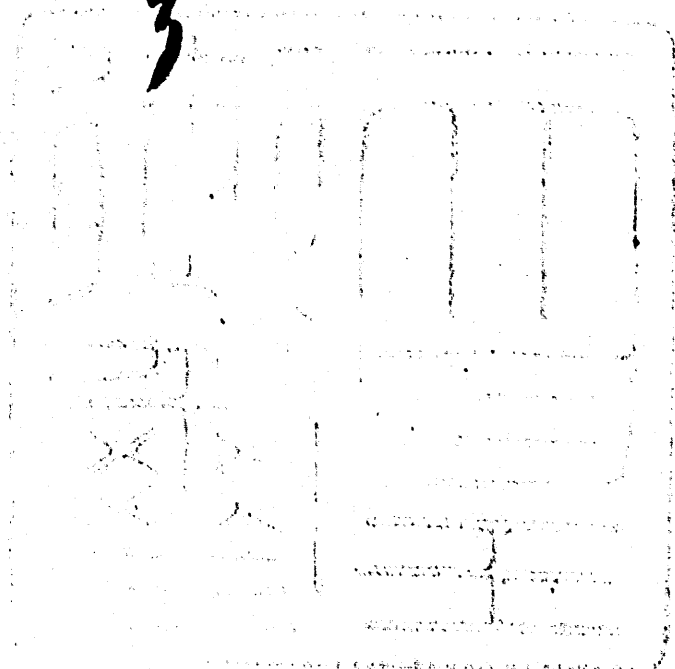
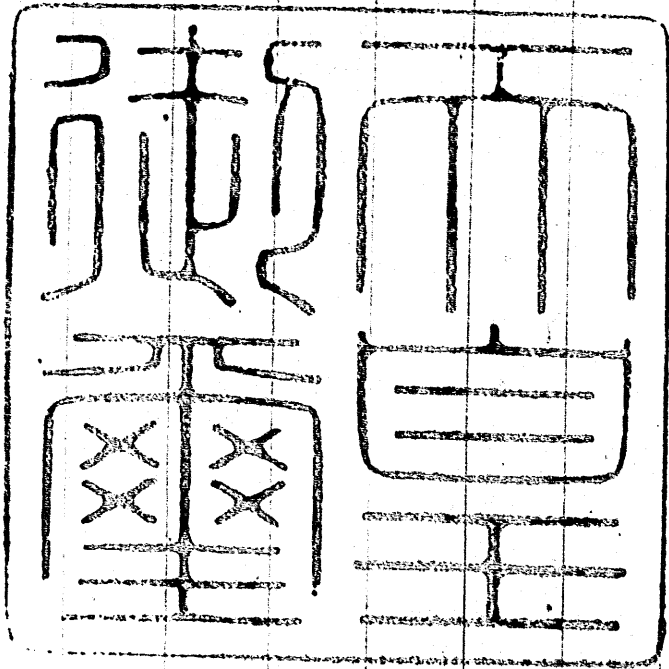


法律第十九号



朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル朝鮮事業公
債金特別會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布
セシム

陛下



明治四十四年三月二十一日

内閣總理大臣兼侯爵桂 大藏大臣 大 臣 侯爵 桂 大 郎

法律第十九號

朝鮮事業公債金特別會計法

第一條 朝鮮事業公債法ニ依ル公債金

ノ會計ハ特別トシ一般ノ歳入歳出ト
区分スヘシ

第二條 公債金ヲ使用セムトスルトキ

ハ一般會計ヲ經由シテ其ノ金額ヲ朝
鮮總督府特別會計ノ歳入ニ組入レ其
ノ歳出トシテ之ヲ拂出スヘシ但シ公
債又ハ借入金ヲ償還スル場合ニ於テ

ハ直ニ之ヲ國債整理基金特別會計ニ
繰入ルヘシ

第三條 公債金ニ餘裕アルトキハ之ヲ
大藏省預金部ニ寄託シ其ノ利子ハ之
ヲ本會計ノ歳入ニ編入スヘシ

第四條 公債金ノ毎年度内ニ使用セサ
ルモノハ遞次之ヲ翌年度ニ繰越スヘ
シ

本會計ノ毎年度歳出豫算ニ於ケル支
出殘額ハ遞次之ヲ翌年度ニ繰越シ使

用スルコトヲ得第二條ノ規定ニ依リ
朝鮮總督府特別會計ノ歳入ニ組入ル
ヘキ一般會計ノ毎年度歳出豫算ニ於
ケル支出殘額ニ付亦同シ

第五條 公債金ヲ以テ支辨スル事業完
成ノ後本會計ニ剩餘アルトキハ之ヲ
朝鮮總督府特別會計ノ歳入ニ繰入ル
ヘシ

第六條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出
豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共

ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

附則

本法ハ明治四十四年度ヨリ之ヲ施行ス
明治四十三年勅令第四百六號第五條ニ
於ケル公債金特別會計ニ属スル資金ノ
殘餘ハ明治四十三年度朝鮮總督府特別
會計ノ歳入ニ編入ス